

取扱注意

教科用図書（小学校）の調査・研究の観点等について

- 1 国 語
- 2 書 写
- 3 社 会
- 4 地 図
- 5 算 数
- 6 理 科
- 7 生 活
- 8 音 楽
- 9 図画工作
- 10 家 庭
- 11 保 健
- 12 英 語
- 13 道 徳

令和元年8月9日（金）

教科用図書の調査・研究の観点等について【国語】

国語科の 目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>
------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 単元の目標の示し方</p> <p>② 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>③ 情報の扱い方に関する事項</p>	<p>○ 各単元における目標の示し方</p> <p>○ 語彙を豊かにするための語句の示し方</p> <p>○ 辞典の種類と具体例，調べる活動</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>④ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>⑤ 課題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>⑥ 見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p>	<p>○ 実生活とのつながりのある事柄を取り上げた単元名，題材・テーマ</p> <p>○ 課題と学習の進め方</p> <p>○ 学習過程の構成，評価活動</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑦ 単元や資料等の配列</p> <p>⑧ 伝統と文化に関する内容の記述</p>	<p>○ 配列の特徴，総単元数・領域ごとのページ数</p> <p>○ 伝統的な言語文化に関する単元の数・単元名・取り上げられている作品等</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑨ 本文記述と関連がある図表等の活用</p> <p>⑩ 巻頭の示し方</p>	<p>○ 取り上げられている図表等，文章と図表等の関連について考えさせる記述</p> <p>○ 巻頭の示し方と内容</p>
言語活動の充 実	<p>⑪ 考えを伝え合うなどして話し合う活動の工夫</p> <p>⑫ 学校図書館機能の活用</p>	<p>○ 単元名，例示されているテーマ・議題，話し合いの形態</p> <p>○ 学校図書館等の利活用の仕方について示されている内容</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【書写】

国語科の 目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>
------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	① 単元の目標の示し方 ② 姿勢、点画の書き方、 用具の扱いの示し方	○ 単元の目標の示し方 ○ 正しい姿勢、点画の書き方、用具の扱い方の写真・イラストの示し方
主体的に学習 に取り組む工 夫	③ 課題解決的な学習を 実施するための工夫	○ 学習過程の示し方と構成
内容の構成・ 配列・分量	④ 単元等の配列・分量 ⑤ 伝統と文化に関する 内容の記述	○ 各学年の総ページ数・毛筆教材数・硬筆教材数・ 硬筆記入欄のページ数 ○ 書写の歴史に関する資料等の内容とページ数、 伝統的な言語文化に関する内容とページ数
内容の表現・ 表記	⑥ 配色、レイアウト等の 表現・表記の工夫	○ 筆順の示し方、紙面構成等
言語活動の充 実	⑦ 学習や日常生活に生 かす言語活動の工夫	○ 各教科等の学習や日常生活に生かす単元名、教 材数及び教材例

教科用図書の調査・研究の観点等について【社会】

社会科の 目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。</p>
------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の定着	<p>① 単元の目標の示し方</p> <p>② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能及び我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例 ○ 地図帳の使い方の例 (第3学年) ○ 47都道府県の学び方の例 (第4学年) ○ 日本の位置と領土についての扱い (第5学年) ○ 世界の主な大陸と海洋の例及び世界の主な国の例 (第5学年) ○ 世界文化遺産の扱い及び国の形成に関する考え方 (第6学年) ○ 歴史上の人物の扱い及び事例 (第6学年)
主体的に学習に取り組む工夫	<p>③ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入の工夫及び興味・関心を高める問いの例 ○ 呉市や広島県に関する記述 ○ 学び方のポイント、学び方の具体例及び体験的な学習を実施するための工夫
内容の構成・配列・分量	<p>⑤ 単元や資料等の配列、分量</p> <p>⑥ 現代的な諸課題の扱い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の構成と分量、補充的・発展的教材の分量、地域事例の扱い ○ 自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第4学年) ○ 国土の自然災害に関する内容の扱い (第5学年)
内容の表現・表記	<p>⑦ 本文記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文記述と適切な関連付けがされたイラスト、写真、地図、グラフ等の扱い
言語活動の充実	<p>⑧ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫</p> <p>⑨ 観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いに考えを深めていくための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞、地図、年表、レポートなどでのまとめ方の種類及び具体例 ○ 収集した情報をもとに、単元末における話合いや説明の活動を促す工夫とその具体例

教科用図書の調査・研究の観点等について【地図】

社会科の 目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに，様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について，よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚，我が国の国土と歴史に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚，世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。</p>
------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の定着	<p>① 単元や活動の取扱い・説明の仕方の工夫</p> <p>② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能及び我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p>	<p>○ 地図の見方の記載例</p> <p>○ 国際理解及び国土の地理的環境や歴史的事象に関する学習への活用に向けた記載の例</p>
主体的に学習に取り組む工夫	<p>③ 興味・関心を高める工夫</p> <p>④ 課題の設定，整理・分析，振り返りを展開するための構成上の工夫</p>	<p>○ 興味・関心を高めるための記載例</p> <p>○ 呉市や広島県に関する記載</p> <p>○ 作業的・体験的な学習課題の例</p>
内容の構成・配列・分量	<p>⑤ 単元や資料等の配列</p>	<p>○ 統計資料及び地図の扱い</p>
内容の表現・表記	<p>⑥ 学習内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p>	<p>○ 資料等の活用方法の記載</p>
言語活動の充実	<p>⑦ 観察・調査や各種資料の活用の工夫</p> <p>⑧ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫</p>	<p>○ 地図を活用した調べ方の例</p> <p>○ 地図を活用した表現の例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【算数】

算数科の 目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>
------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 単元の目標を達成するための工夫</p> <p>② 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫</p>	<p>○ 単元の流れ、問題場面やまとめの示し方</p> <p>○ 学年間でスパイラルに取り扱われている内容及び練習問題数</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>③ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>④ 問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>⑤ 具体的な体験を伴う学習を実施するための工夫</p>	<p>○ 単元の導入及び単元末で取り扱われている題材数と具体例</p> <p>○ 単元の問題解決の過程</p> <p>○ 具体的な体験を伴う学習場面の数と具体例</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑥ 単元や資料等の配列</p> <p>⑦ 中学校との関連に関する内容の記述</p>	<p>○ 単元内の構成、単元内の配列と分量</p> <p>○ 中学校から移行された学習内容の記述、中学校との接続に関わる記述</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ イラスト・写真・吹き出し等の活用</p>	<p>○ キャラクター等の活用、視覚資料の扱いの具体例、デジタルコンテンツの扱い</p>
言語活動の充 実	<p>⑨ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫</p> <p>⑩ 思考を深めるための記述の工夫</p>	<p>○ 説明したり、話し合ったりする学習の流れと活動の具体例</p> <p>○ ノート指導の扱い及びその記載例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【理科】

理科の 目標	<p>自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。</p> <p>(3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p>
-----------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 単元の目標とまとめの示し方</p> <p>② 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <p>③ 観察、実験の技能を習得させるための工夫</p>	<p>○ 単元のねらいの示し方、単元末のまとめの扱い</p> <p>○ 日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い、補充的な学習や発展的な学習の分量、ものづくりの数</p> <p>○ 観察、実験の数、観察、実験の準備と手順の扱い、観察、実験における安全確保及びアルコールランプの操作の扱い</p>
主体的に学習 に取り組む工夫	<p>④ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>⑤ 問題解決の力を育成するための工夫</p>	<p>○ 興味・関心を高める問いかけの工夫及び単元の導入の工夫</p> <p>○ 学習の進め方の示し方、問題解決の過程、課題発見の工夫、問題解決の力の育成の扱い</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑥ 単元や資料等の配列の工夫</p> <p>⑦ 様々な教育との関係</p>	<p>○ 判、ページ総数、単元の数、単元以外の数と具体的内容</p> <p>○ 防災・減災に関する内容の扱い、プログラミングの体験に関する内容の扱い</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫</p>	<p>○ 巻頭・巻末等の資料の扱い、イラスト・写真・図表等の示し方の工夫、キャラクターやマーク等の活用</p>
言語活動の充 実	<p>⑨ 観察、実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫</p> <p>⑩ 科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫</p>	<p>○ 考察文の記述例及び考察文の要素</p> <p>○ 話し合いや説明の活動を促す工夫とその具体例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【生活】

生活科の 目標	<p>具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。</p> <p>(3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。</p>
------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫</p> <p>② 自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫</p> <p>③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫</p> <p>④ 生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫</p>	<p>○ 飼育単元の学習活動の流れ、住みか及び餌等飼育方法が示されている生き物</p> <p>○ 地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真、四季の変化を対比させたページ</p> <p>○ 学習活動の例及び相互評価・他者評価の例</p> <p>○ 生活のきまりや安全についての記述等</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>⑤ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>⑥ 振り返り表現する活動の工夫</p>	<p>○ おもちゃをつくる単元の導入ページの内容</p> <p>○ 栽培単元におけるワークシートの例示</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑦ 単元や資料等の配列及び分量</p>	<p>○ 単元名及び総ページ数、スタートカリキュラムの内容</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p>	<p>○ キャラクター・マークの工夫</p>
言語活動の充 実	<p>⑨ コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定</p>	<p>○ 多様な表現方法（ICT含む）で伝え合う活動の例示</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【音楽】

音楽科の 目標	<p>表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 題材の学習目標等の示し方</p> <p>② 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <p>③ 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫</p>	<p>○ 題材名，学習目標の表記の仕方及び目標達成のための支援</p> <p>○ 歌唱教材の扱い</p> <p>○ リコーダーの扱い</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫</p> <p>⑤ 音や音楽を生活や文化などに関連付ける工夫</p>	<p>○ 音楽づくりに関する学習過程等の示し方</p> <p>○ 音や音楽と生活との関わりについての記述例</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑥ 我が国の音楽に関する内容の扱い</p> <p>⑦ 題材や資料等の配列</p>	<p>○ 学年ごとの鑑賞曲，和楽器，歌唱教材</p> <p>○ 表現領域における系統的な扱い</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫</p>	<p>○ 音楽を形づくっている要素の示し方と具体例</p>
言語活動の充 実	<p>⑨ 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫</p>	<p>○ 表現及び鑑賞領域における音楽科の特質に応じた言語活動の具体例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【図画工作】

図画工作科の 目標	<p>表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくり表したりすることができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
--------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 題材の目標・振り返りの示し方</p> <p>② 【共通事項】を視点とした学びの示し方</p> <p>③ 材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫</p>	<p>○ 題材の目標・振り返りの表記の仕方と具体例</p> <p>○ 【共通事項】を視点とした学びの示し方と具体例</p> <p>○ 材料や用具の取扱い等の示し方</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>④ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>⑤ 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫</p> <p>⑥ 身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い</p>	<p>○ 導入の文の示し方と具体例</p> <p>○ 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の具体例</p> <p>○ 鑑賞の対象と示し方</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑦ 題材や資料等の配列</p>	<p>○ 題材数、構成や配列</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 作品等についての示し方の工夫</p>	<p>○ 作品や造形活動の示し方と具体例</p>
言語活動の充 実	<p>⑨ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p>	<p>○ 発想や構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方、具体例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【家庭】

家庭科の 目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。</p>
------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	① 題材の目標の示し方 ② 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	○ 題材ごとの目標の示し方 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫
主体的に学習 に取り組む工 夫	③ 「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫 ④ 学習した内容を家庭や地域で実践するための記述 ⑤ 実生活での活用に関する記述	○ 「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせたり、意識させたりする具体例 ○ 生活の課題と実践の展開の示し方 ○ 学習した内容を実生活で活用するための具体例
内容の構成・ 配列・分量	⑥ 題材や資料等の配列 ⑦ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑧ 各教科等と関連させて学習を進める工夫	○ 題材の配列及び資料等の配列 ○ 実践的・体験的な学習の展開例 ○ 他教科と関連する内容を示す具体例
内容の表現・ 表記	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○ 学習内容と関連した図・イラスト・写真・資料等の活用の工夫
言語活動の充 実	⑩ 言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫	○ 言語活動を取り入れた学習の工夫の具体例

教科用図書の調査・研究の観点等について【保健】

体育科の 目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。 (1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。
------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	① 単元の目標の示し方 ② 体育・健康に関する内容の記述 ③ 実習に関する記述	○ 学習課題の示し方, 学習の動機づけ ○ 学校における食育・安全・体力向上（運動領域との関連）に関する記述 ○ 不安や悩みへの対処, けがの手当てに関する実習事例
主体的に学習 に取り組む工 夫	④ 学習の見通しを立てたり, 振り返ったりする学習のための構成上の工夫 ⑤ 健康についての自己の課題を見付け, その解決に向けた学習活動の工夫	○ 単元ごとの導入方法, まとめや振り返りの工夫 ○ 学習の進め方の示し方, 課題解決の過程の扱い
内容の構成・ 配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列 ⑦ 発展的な学習に関する内容の記述	○ 単元における項目, 資料等の配列 ○ 発展的な学習の具体例と事例数
内容の表現・ 表記	⑧ 本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用	○ 本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容
言語活動の充 実	⑨ 身近な健康に関して, 自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫	○ 自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数

教科用図書の調査・研究の観点等について【英語】

外国語科の 目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
-------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	① 単元の目標の示し方 ② 基礎的・基本的な知識・ 技能の定着を図るための 工夫	○ 目標の示し方及び具体例 ○ 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定 した単元名及び具体例
主体的に学習 に取り組む工 夫	③ 興味・関心を高めるた めの工夫 ④ 単元等における振り返 りの工夫	○ 単元の導入の工夫 ○ 単元など学習内容のまとまりを踏まえた振 り返りの設定及び具体例
内容の構成・ 配列・分量	⑤ 単元の構成・配列の工 夫 ⑥ 知識・技能の活用を促 す配列の工夫	○ 単元における4技能5領域に関連した言語 活動の構成・配列 ○ 習得した知識・技能の活用を促す言語活動の 設定及び具体例
内容の表現・ 表記	⑦ 学習内容との適切な関 連付けがなされたイラスト、 写真等の活用 ⑧ 巻末資料、付録等の工 夫	○ キャラクターやマーク等の活用及び多様な ICT環境への対応 ○ 巻末資料、付録等の内容
言語活動の充 実	⑨ 児童の身近な暮らしに 関わる場面設定の工夫 ⑩ 対話的な学びを促す言 語活動の工夫	○ 主として学校での学習や活動場面が取り上 げられた単元 ○ 自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活 動の内容

教科用図書の調査・研究の観点等について【道徳】

特別の教科 道徳の目標	第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
----------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	① 道徳科の学び方等の 示し方 ② 発問の工夫	○ オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載 例 ○ 記載箇所, 数, 記載例
主体的に学習 に取り組む工 夫	③ 問題解決的な学習を 取り入れた工夫 ④ 体験的な学習を取り 入れた工夫	○ 問題解決的な学習の扱い, 教材名・内容項目・ 問題意識のもたせ方, 発問の具体例 ○ 体験的な学習の扱い, 教材名等・内容項目・体 験的な活動の概要, 体験的な活動を促す具体例
内容の構成・ 配列・分量	⑤ 分量や教材の数 ⑥ 現代的な課題等を踏 まえた内容の示し方	○ 判型, ページ数, 四つの視点ごとの教材数 ○ いじめ問題の扱いと教材等の例
内容の表現・ 表記	⑦ 巻頭, 巻末等の取扱い の工夫 ⑧ 教材の内容を理解さ せる工夫	○ 巻頭, 巻末等の示し方 ○ マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体 例
言語活動の充 実	⑨ 考えを伝え合う活動 の工夫 ⑩ 考えをまとめたり, 振 り返ったりする活動の 工夫	○ 話し合いを促す示し方と具体例 ○ 考えをまとめたり, 振り返ったりする活動の示 し方, まとめや振り返りの数等と具体例